

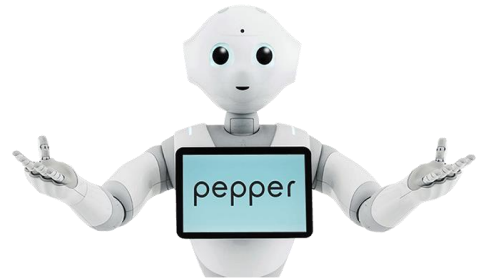
南小たば風通信 2018

平成30年12月11日(火) 第29号

学校力向上に関する総合実践事業実践発表会 参加レポート

11月22日(木)に函館市立八幡小学校で開催された、実践発表会に参加してきました。頂いてきた資料を回覧していますので、ご覧になってください。

会場につくと玄関にペッパー君がおり、「体育館に荷物を置いて、授業会場に移動下さい」と、ずっと案内をしていたのがとても印象的でした。八幡小学校では全学級を公開していました。その中で3年生の「道徳」と特別支援学級高学年の「自立活動」を参観してきました。参考になるかわかりませんが、よければ読んでみて下さい。



①公開授業 3年生道徳科 「ぼくのボールだ」

最初に道徳の授業を参観しました。子どもたちは沢山の観覧者に「ドキドキするね」など後ろを見てソワソワしていましたが、授業が始まると一気に集中し、先生の話をよく聞いていました。今回は、道徳科の「公正、公平、社会正義」に関する内容でした。皆でドッジボールをする時に勝つことを優先するのか、皆で楽しむことが大事なのかを考える授業を行っていました。子どもたちは「自分たちにもあることだね」「この前そうだったよね」と自分の生活に置き換え、考えていました。

話を聞くときは、言われなくても全員が話し手の方に体をすぐ向けていること、納得できることには「納得です」と伝えており、日頃の学習の様子が伝わってきました。また先生の指示が少なく明確なので、子どもたちが指示を一回で聞き、すぐ課題に取り組み、とてもテンポ良く授業が進んでいるように感じました。この道徳では、勝つこと楽しむことの二つの気持ちを、自分ならどうするかを考えて交流していました。友だちとの交流では、「全国大会や大事な試合では勝つことが大事だけど、休み時間のドッジボールは皆で楽しんだり、嫌な気持ちにならなかつたりするのが大事だね」と、次のドッジボールをするときは、皆で楽しめるようにしたいと自分たちの生活に活かすことができていました。

②公開授業 特別支援級高学年 自立活動「こんなときどうする？」

2つ目の特別支援級では今年から、「学級での自立活動」と「高学年・低学年」の2つにわけて自立活動を行っているとのことでした。子どもたちに身に付けさせたい力が学年に合うようにするために、今年から行っている取り組みでした。八幡小学校では、特別支援の人数は15人で教員が6名です。高学年の自立活動では、大きく5つの流れに沿って進められていました。

1 聞くトレーニング

始めの課題は、教師が口頭で話すことをききとり、後から質問されたことに答えるというものでした。「Aさんは放課後友だちと遊びたいと思い、Bさんを誘いました。しかし、用事があると断られ、Cさんから遊ぼうと誘われてCさんと遊ぶことになりました。15時に学校で待ち合わせして15時半に〇〇公園で遊びました。」実際の文はもっと長く、後からの部会で、「大人でも聞き逃しそうな長い文だったね」と先生方から、

話が出るくらいの長い文章を、静かに聞いて質問に答えていました。普段は他にも「見るトレーニング」などを導入で行っているそうです。

2 今日のお題 「こんなときどうする？」

今日のお題は、Aさんの学級では、チャイムが鳴ったら教室に戻るといふ決まりがありますが、目の前で泣いている人がいるときはどうしたらよいか、というものでした。

3 考えタイム

この高学年の自立活動では、子どもたちの話し合いが活動の中心ということで、コの字型に机があり、「自分なら泣いている子がいたら助けるな〜」と積極的に話をする子が数人いました。ワークシートを使用していましたが、書くのが苦手な子にはT2の先生が、近くで書くことを指示したり、「もう一度丁寧に話してみましよう」と不十分な所はすぐやり直しをさせたりと、TTがよく連携されていました。

4 やってみよう

皆で出した答えを実際にやってみる時も、「泣いている子だからやさしくしてあげたほうがいいよね?」「ゆっくり歩いたほうがいいじゃないの?」など、泣いているBさんの気持ちに寄り添うことが大切なことを皆で考えていました。発言する子が決まった子でしたが、発言しない子もきちんと、友だちがやっている姿をよく見て学習していました。

5 ふりかえり

口頭で発表できない子もいましたが、振り返りシートには、今までの自分はこうだったけど、これからは、「友だちを助けたい」や「先生に伝える」など学んだことをどの子も丁寧に書いていました。

全体会 ①校内研究・算数習熟度別学習 ②道外視察報告 ③人材育成

①全体会では玄関にいたペッパー君と、主幹教諭が司会をしていました。校長先生の挨拶にも時々、ペッパー君が相づちをしており、話を理解しているのか?と不思議な感じがしました。

八幡小学校では人材育成に力を入れているようで、全体会の発表は初任段階の教諭が発表していました。

算数の習熟度別学習では、今年度から他教科の専科を充実させるため4コースから3コースに変更したことや、コースの決定は各单元ごとのレディネステストや担任、コーディネータによる協議によって決めているそうです。

②道外視察では、秋田、東京、静岡等色々な学校に視察にっていました。他県のある小学校の取り組みでは、4、5月に聞く力を育てるために、聞いていない子がいたら厳しく指導し、「〇〇さんの言ったことを繰り返し言ってみて」と子どもに聞くことで、聴かなければいけない状況を作り出している学校もあるそうです。

③全体会の最後には、初任段階の先生方から、八幡小学校についての感想発表がありました。八幡小学校では、人材育成推進部を新設し、人材を育成しようと全体で取り組んでいるそうです。主幹教諭が初任の先生方の授業を見て、上手く授業が進められていないとその場で「チェンジだ!」と授業を代わられてしまうことがあるそうです。子どもたちも最初は戸惑っていたようですが、「やっぱり(主幹の)先生の授業は、おもしろいや」と子どもの発言が聴かれることもあるそうです。初任の先生は、頑張らなければと気持ちを奮い立たせられているとのことでした。

授業部会

全学級が公開しているので、部会は全教室で行われていました。全体会で校長先生が「学校のことや方針について質問があれば、それぞれの部会で話をしてみてください。」とおっしゃっていました。1年目の先生もいましたが、全教諭が学校の代表として、学校のことを説明できることがすごいと思いました。

研究会に参加させていただきありがとうございました。これからの指導に役立てて行きたいと思います。